

### 第3回 北海道中学校バスケットボール 新人大会を終えて

中学校の新人大会が南は室蘭市、北は旭川市で行われました。それぞれの大会をしきってくださいました、地区ジュニア連盟の会長さんに大会を終えての感想を語っていただきました。多少個人的な話題に終わっているところもありますが、視点を離れた捉え方もあることを知っていただくためにそのままお二人の原稿を掲載させていただきます。高柳会長、大磯会長ありがとうございます。

#### 北大会を終えて

旭川ジュニアバスケットボール連盟  
会長 高柳 知己

温暖化の影響でしょうか、雪のほとんどない12月でしたが、大会と同時に荒れた天候となり、各チーム、及び役員の皆様は移動に大変苦労したのではないのでしょうか。

男子は、優勝した帯広緑園の強さが目立ちました。緑園のスピードと高さに、どの対戦チームもついていけなかったように思います。ディフェンスリバウンドからの速攻、巧みな合わせのプレイや球さばきなど、よく鍛えられているという印象です。186cmのセンター仁平君を中心に、外の選手も安定して得点を取ることができるバランスのよいチームであり、決戦大会の活躍が楽しみです。

準優勝の当麻・愛別は、隣町どうしの中学校で構成している合同チームです。今回の大会は、エースの小林君をはじめインフルエンザで数名を欠き、苦しい展開を強いられました。そのような状況で、決勝トーナメント1回戦の中央長沼、準決勝の芦別をいずれも2点差で破っての決勝進出はよく頑張ったと思います。決戦大会にはインフルエンザも治り、メンバー全員が揃うと思いますので大いに頑張ってもらいたいと期待しているところです。

女子の決勝は、帯広第一と旭川神居東の対戦となりました。両チームとも、2年生を中心にしながらも1年生を主体としたチームです。また、帯広第一の高島先生、神居東の高島先生は、両者ともに全道大会の常連であり何度も全国を経験しているベテランです。1年生といえども両チームよく鍛えられていて、どちらが勝ってもおかしくないゲーム展開でした。帯広第一は、4Qのゾーンディフェンスとボールを持ったときのリングに向かう気持ちの強さが1

点差の優勝をもたらしたように思います。準優勝とはなりましたが、神居東は3Qまでやや優位と思われましたが、最後は相手に流れが行ってしまいました。インサイドとアウトサイドの両方で得点の取れるバランスのよいチームであり、決戦大会の奮起を期待します。繰り返しになりますが、両チームとも将来性のあるすばらしい1年生を擁していますので、来年、再来年の中体連が楽しみであり、皆さんとともに各選手の伸びとチームの成長ぶりを注目していきたいと思います。

今年度の全道中体連稚内大会のときに、幸丸先生が「コーチの品格」と題して書いていましたが、今回の大会においても選手に対する乱暴な言葉が会場の人々に不愉快な気持ちを与えていたように思います。前野旭川地区会長からは、ジュニア連盟として代表者会議等で指導していく必要があるのではないかという指摘を受けたところです。

不幸なことに、帰路についていた留萌中学校の男子チームは、ホテルの送迎バスがスリップしたようで大型トラックと正面衝突するという事故に遭ってしまいました。早速、留萌中の校長先生に電話を入れ様子を聞いてみましたが、5名の部員が軽傷を負ったそうです。軽い打撲程度のけがというのが不幸中の幸いでした。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復を願っております。

## 南大会を終えて

室蘭地区ジュニアバスケットボール連盟  
会 長 大 磯 武 志

幸丸先生、明けましておめでとうございます。

年末のお忙しい中、南北海道大会に来ていただき本当にありがとうございます。この大会ほど、天候が読めない大会は無いと改めて痛感いたしました。

開会式の時にはまだ雨で、積雪がゼロの室蘭地方でしたが、私が挨拶で余計なことを言ったがためにとんでもない大会中の天気になってしまいました。

しかし、それで用心していただいたのか、初日の開始の遅れの連絡もなく、なんとか乗り切ることができました。

私も歳をとったと感じさせられる部分は、幸丸先生や村上先生の口から出てくる20年前くらいの先生達のお名前に「うん、うん」とうなずく自分でした。

そして、自分も何かをやってみたいと改めて幸丸先生の指導者としての行動力のすごさに感心させられました。

北大医学部、アカシヤクラブでのコーチ歴は存じ上げていましたが、初めて

知ったジュニア・バスケットボール・ナイト・クリニックの存在に感銘いたしました。

今回の南北海道大会にも、このクリニックに参加している生徒たちが多数いるということ、試合後に幸丸先生のところにアドバイスを受けに来る生徒達が多数いたこと。

自分は立場上、管理職になったということで逃げていたのかなっと思わざるを得ない衝撃でした。

私の学校にはバスケットボール部がありません。それで甘んじていいのかなって思い始めています。

何かやってみます。まだその「なにか」はわかりませんが・・・・。今度ひょこっと見に行ってもいいですか？そこは「スペシャルの笛」でもOKですよ。

大会の内容については幸丸先生がブログにくわしく書かれていらっしゃるの、割愛させていただきます。正直いうとあんまり見れていないんです。

天気、会場の器具、T・O、審判、駐車場、弁当の手配、選手の怪我・・・・。

良いコンディションで少しでも良いゲームが出来ていたならベストです。

室蘭で大会を開催することで、地区の選抜チームに選ばれない生徒たちもトップレベルのプレーを見る事が出来、自分もオンザコートに立ちたいと感じてくれたなら・・・・、最高です。

5年後は1チームでも最終日に残れるような、そんな室蘭地区に育ってくれればと思っています。

今度の大会の時には「スペシャルで笛」なんてことは考えない歳ですのでご安心ください。

先生、お体を大切に、さらにご活躍をご期待いたします。(私 1960 年生まれです、まだまだですね、村上先生も頑張っていらっしゃるし・・・・)